

がつ か て い きょういくげっかんもくひょう
3月の家庭教育月間目標

はなしをしっかりときこう!



ふだん、家庭で子どもと話をしていますか？保護者の皆さんは、仕事や家事に忙しい毎日をご
されているとおもいます。子どもと話したくても話せないという方も多いとおもいます。

でも少しだけ時間をとって、子どもの話に耳を傾けてください。子どもは親（保護者）と話を
することが大好きです。学校や園でのこと、友達のこと、好きなものこと・・・、話したいこと
がいっぱいあります。今日は忙しい手を少しだけ止めて、子どもの話を聴きませんか。

はなし き と き
話を聴く時のコツ

① 手をとめて聴く

子どもが話しかけてきたら、手をとめて聴
きましょう。スマホを見ながらなどはやめま
しょう。

② 話の腰を折らずに聴く

子どもが話している時は、最後まで聴きま
しょう。

③ うなずいたり、相づちを打ったりする

子どもは、聴いてもらっているという
安心感をもてます。

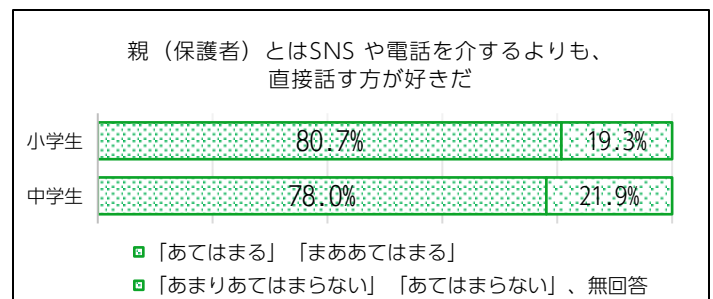
④ 子どもの話を否定しない

話している内容が、親（保護者）の意見と違
っても否定せずに聴きましょう。



子どもの話をしっかりと聴いて、子どもが聴いて
もらっているという実感を大切にしましょう。

ある調査によると、日本の小学生の18.0%、中学生の
25.1%が「SNSを利用して親（保護者）とコミュニケーションを
よくしている」と回答し、親子の対話でSNSが活用されている
ことがわかります。しかし、同じ調査で、「親（保護者）とは SNS
や電話を介するよりも、直接話す方が好きだ」と答えた小中
学生は約80%に上りました。SNS などうまく活用しながら、
向き合って話す時間はとりたいものです。



参考 国立青少年教育振興機構
「インターネット社会の親子関係に関する意識調査報告書(H30.7)」

話をすることは親子の大切なコミュニケーションの一つです。時間はほんの少しでも構いません。話を
きちんと聴いてもらうことで、子どもは、大人との信頼関係を深め、自分がかげがえのない存在であるとい
う意識を育てていきます。大人との信頼関係ができれば、やがて思春期になって、口数が少なくなっても、
家庭を大切な心の拠り所として、自立への一歩を踏み出していくでしょう。

子どもが何でも話してくれる時間は、そんなに長くはありません。保護者の皆さん、忙しく
がんばっておられる毎日ですが、今日は少しだけ時間を作って、子どもとの会話を楽しみませんか。

